

環境啓発とコミュニケーション

社員に対する環境啓発研修などの実施を通じて、社員の環境行動意識の向上に取り組んでいます。また、阪神高速ホームページやSNS、環境イベントなどを通じて環境情報を積極的に発信し、ステークホルダーとのコミュニケーションを図っています。

阪神高速グループの森づくり活動 ～温室効果ガス吸収源対策×生物多様性保全～

阪神高速グループは、5号湾岸線に隣接する兵庫県立尼崎の森中央緑地で、2017年から「阪神高速グループの森づくり活動」をスタートさせました。専門家の指導のもと、社員自らが15種類の苗木を育苗・植栽し、継続して除草・間伐作業を実施しています。9年目を迎え、植物は着実に生育して実がなり、昆虫や鳥も集まるなど、地域の生物多様性保全にも貢献しています。

※ 兵庫県立尼崎の森中央緑地は、2023年10月、国の認定制度である生物多様性の保全が図られている区域「自然共生サイト」に認定されました。



除草・間伐作業（2025年12月実施）

環境イベントなどを通じた積極的な情報発信

阪神高速道路上で使用し、役目を終えた横断幕の有効活用として、「横断幕再生プロジェクト Re:loop 阪神高速」を展開しています。2019年度から始まった第3弾では無償で使用済み横断幕を提供し、企業・団体で有効活用いただく取り組みを実施しており、校内行事や卒業制作さらには実習材料として活用いただいています。

また、イベント出展時には「使用済み横断幕を用いたポシエットづくり体験」などの実施を通じて、環境啓発活動にも取り組んでいます。2025年度は計4回のイベントで、500名以上のお客さまに参加いただきました。



団体活用事例（木工授業の材料に活用）

VOICE

ネイチャー ポジティブ(自然再興)の実現に向けて

兵庫県立尼崎の森中央緑地は、工場跡地であり、かつて植物がほとんど見られなかった場所に整備された公園です。この地では、人の手によってゼロからどこまで「生物多様性」を創出できるのかという、全国的にも珍しい森づくりに挑戦しています。私は、阪神高速グループの皆さまが活動されているエリアにおいて、除草や間伐作業などの現地作業に対し、指導・助言を行っています。活動エリアでは、阪神高速グループの皆さまの強い要望を受け、兵庫県レッドリストに掲載されている植物を含む、複数の貴重な植物の育成が進められています。これらの取り組みは、単なる緑化活動にとどまらず、地域の生物多様性を回復・向上させるネイチャー ポジティブの実現に向けた具体的な一歩となっています。これからも阪神高速グループの皆さまと力を合わせ、未来へつながらこの森で、生きものと人がともに育つ豊かな環境づくりを進めていきたいと思っています。



阪神園芸株式会社
FM事業部
課長
斉藤 義人

PICK
UP!

横断幕再生プロジェクト

「横断幕再生プロジェクト Re:loop 阪神高速」の詳細は、阪神高速ホームページで紹介しています。



詳しくはコチラ